

第2学年 松・竹・梅組 算数科 『筆算のたし算・ひき算のまとめ』 略案

指導者 角崎 大 (T 1) 杉山 徳子 (T 2)
大須賀 章子 (T 3) 佐々木智子 (T 4)
土倉 新也 (T 5)

1. 日時 7月 11日 (火) 2校時 (9:20~10:05)
2. ねらい 1学期で習ったたし算・ひき算の学習内容の習熟を図る。

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価 (◎評価)	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
9 : 2 0	1. 本時のめあてを確認する。 筆算のたし算・筆算のひき算のべんきょうを しっかりみにつけよう。	○今までの学習の習熟度を把握し、あらかじめ筆算の虫食い算から始める子どもを決定しておく。 ○すぐにプリント学習に取り組めるように場を準備しておく。	○挨拶と自己紹介をする。
9 : 2 5	2. コース別に問題に取り組む。	☆足し算コース 【23人程度】(T1担当) ☆引き算コース 【23人程度】(T2担当) ☆文章問題コース 【22人程度】(T3担当) ☆問題づくりコース 【20人程度】(T4担当) 虫食い算 (発展) (T5担当) - 各コースでプリントを準備する。 (難易度に差のある問題を用意する) - 児童が自ら学習を進めることができるように、学習チェックカードを準備する。 - 机間指導をしながら、助言したり、児童の支援に当たったりする。 ◎各コースで用意したプリントの問題を正しく解くことができる。	- 問題づくりコースの子ども達が、コースの学習を終えたら、虫食い算の問題を解く。 - 問題づくりコースで問題づくりで困っている子どもに助言する。 - 筆算の足し算・筆算のひき算の虫食い算の問題を準備し、児童に提示する。 - 解答を説明に来た児童に対して賞賛したり、助言を与えたりする。
1 0 : 0 0	3. 本時の振り返りをする。	がんばりが認められる子どもの振り返りを選び、発表の指名をする。	・感想や助言を話す。

